

## 令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力に係る署名式の実施

12月6日、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件の3つの案件の署名式が大使公邸にて開催されました。

岩藤大使は、署名式の冒頭あいさつで、草の根プロジェクト成功のために最も重要なのは、コミュニティの当事者意識(Ownership)であり、NGO、地方政府とコミュニティの連携が不可欠であると、透明性の高い、円滑で効果的なプロジェクトの実施を期待すると述べました。

署名が行われた3案件の実施内容と各代表のあいさつは以下の通りです。

### 1. 「チピング郡における子児童保護施設の建設計画」

このプロジェクトは、ローカルNGO「シムカイ児童保護プログラム」に対して90,858米ドルの資金を供与し、虐待を受けた子どもやストリートチルドレン、また、2019年3月のサイクロン・イダイにより孤児となった子ども等、支援・保護を必要とする子どものための複合施設（シェルター、カウンセリング室、事務室、食堂、トイレ、キッチン、倉庫）を建設するものです。

マツァンガ代表は、プロジェクトの実施によって、今後は十分な活動場所を確保することができ、助けを必要とするより多くの子どもたちに支援の手を差し伸べることが出来るようになる」と述べました。

### 2. 「ハラレ中央病院における障害児のリハビリ及び保護者の研修施設建設計画」

このプロジェクトは、ローカルNGO「ハラレ中央病院小児科基金」に対して68,526米ドルの資金を供与し、既存施設の老朽化が進んでいるハラレ中央病院小児科において、障害児のリハビリやその保護者を対象としたワークショップを実施するための新たな施設を建設するものです。

パウエル代表は、新施設で同じ障害をもつ子どもたちが出会い、またその保護者が交流し、正しい知識・情報を得ることで、障害児に対する偏見の解消や家族崩壊の阻止につながっていく」と述べました。

### 3. 「ムビレ郡ニャルトンボ小学校における教育環境改善計画」

このプロジェクトは、ローカルNGO「メソジスト開発救済機構」に対して88,616米ドルの資金を供与し、現在、藁葺き屋根の仮設教室や青空教室を利用して授業を行っているニャルトンボ小学校において、新規教室棟1棟、トイレ棟1棟、教員寮及びトイレ1棟を建設、また、未完成の教室棟2棟を完工し、学習机と椅子を整備するものです。

タバジバ代表は、ムビレ郡では気候条件が厳しく貧困ゆえに子どもの学費を工面できない家庭が多く、学校の改修や新築にまで着手していない現状があるが、プロジェクトにより新校舎が建設されれば、子どもたちの学習環境を大幅に向上させることができると述べました。

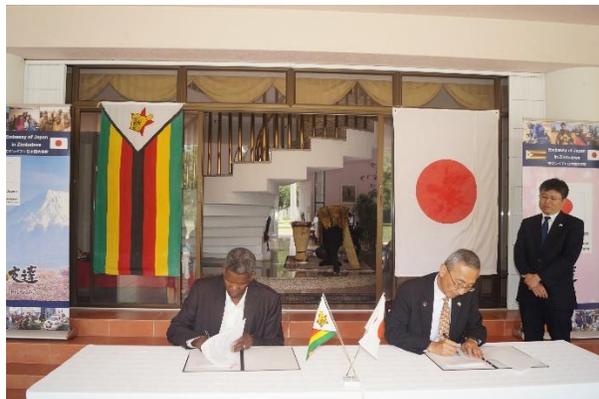
シムカイ児童保護プログラム



ハラレ中央病院小児科基金



メソジスト開発救済機構



全体写真

